

平成21年度地域密着型金融推進計画の進捗結果

(平成21年4月から平成22年3月まで)

1. 平成21年度の進捗状況、進捗結果に対する分析および評価

平成21年度は、概ねスケジュールどおり進捗しました。

1. ライフサイクルに応じた取引先企業の支援強化

経営支援先を選定し、事業の早期再生のための経営改善計画の策定指導を行ったほか、中小企業施策の活用、事業承継問題への対応およびビジネスマッチング等に取り組みました。また、各地域商工会と連携して、創業・新事業進出を支援するためのノウハウを提供しました。

取引先企業への有効な支援のためには人材の育成が不可欠と考え、外部講師を招きセミナーを開催しました。また、決算書等の知識習得の為、勉強会を開催し職員の能力向上に取り組みました。

取引先企業の支援強化の目標設定項目に対する実績は以下のとおりです。

目標設定項目	21年度目標	21年度実績
経営改善計画策定先数	20先	19先

2. 事業価値を見極める融資手法をはじめ、中小企業に適した資金供給手法の徹底

取引先企業の状態を把握するために、研修・勉強会等により職員の目利き能力の向上を図るとともに、定期的・継続的訪問活動を強化するために、定期積金訪問先獲得の実践訓練を行いました。また、定性情報の適正評価による信用格付等への反映や、設備担保信用補充制度の利用促進等により、取引先企業の実態に則した融資手法の普及に努めました。

3. 地域の情報集積を活用した持続可能な地域経済への貢献

NPO法人「静岡県西部地域しんきん経済研究所」の情報提供機能を利用して、各種情報を地域へ発信しました。

また、地域活性化のためのサービス提供として、金融知識の普及に着手するとともに、引き続き「館山寺温泉街まちづくり協議会」に参画しました。

さらに、引佐地域の観光資源を活用した地域資源活用プログラムの認定支援を行い、地域の活性化に取り組みました。

4. 協同組織金融機関としての取組

信用金庫としての機能を強化するために、会員に対するアンケート結果を分析しました。

また、金庫の経営管理態勢のより一層の強化のため、法令等遵守の徹底、リスク管理体制の充実に取り組みました。

平成21年度は概ねスケジュールどおりに進捗しましたが、この取組は金庫の健全経営のための恒久的な課題と捉え、昨今の不安定な経済環境に対応すべく取組を強化していきます。

アクションプログラムに基づく個別項目の進捗状況

項目および要請事項	具体的取組策	実施スケジュール		進捗状況		備考
		21年度上期	21年度下期	平成21年度上期	平成21年度下期	
1. ライフサイクルに応じた取引先企業の支援強化						
(1) 事業再生						
早期再生と持続可能性のある事業再構築	シミュレーションソフトを用いて取引先企業の現状を分析し、営業店の支援活動方針と支援先ごとの支援方針を決定する。 また、支援先の状況を定期的に把握し、支援の進捗状況に応じて支援活動方針を再構築していく。	支援先を選定し支援方針を決定する。 支援先企業へのモニタリングを実施する。 企業の経営改善計画書の作成を支援する。 外部支援機関による専門家派遣制度など中小企業支援策の勉強会を実施する。 中小企業再生支援協議会を活用した再建策を検討する。	支援先企業へのモニタリングを実施する。 企業の経営改善計画書の作成を支援する。 中小企業再生支援協議会を活用した再建策を検討する。	支援先を選定し、各支援先に対する支援方針を決定した。 支援先のモニタリングを実施した。 1先について中小企業再生支援協議会の活用をスタートさせた。 企業の経営改善計画書策定を支援した。	支援先企業の状況把握のため、面談記録表を活用してモニタリングを実施した。 取引先2先について中小企業再生支援協議会との連携による再建策を検討した。 企業の経営改善計画書の策定先は19先であった。	<目標> 経営改善計画の策定20先 <実績> 経営改善計画の策定19先
(2) 創業・新事業支援						
創業・新事業進出ノウハウの提供	新事業進出における経営革新計画策定支援等、創業計画の策定を支援するとともに、中小企業支援施策等の情報を提供する。 また、地元商工会が開催する創業塾を支援する。	創業希望者に対して事業シミュレーションの実施を支援する。 地元商工会が開催する創業塾や経営革新講座を支援する。	創業希望者に対して事業シミュレーションの実施を支援する。	新居町商工会、舞阪町商工会、湖西商工会が主催した創業塾に、講師として職員を派遣した。 創業支援相談、経営革新相談を受け付けた。 創業希望者に対する事業シミュレーションを実施した。	創業支援相談を2先受け、2先が創業に至った。 経営革新相談を13先受け、そのうち7社が経営革新計画の承認をうけた。	<創業・新事業資金の実績> 件数: 42件 金額: 532百万円 <経営革新計画支援実績> 相談件数: 41件 認定件数: 10件
(3) 経営改善支援						
コンサルティング能力・態勢の強化	提案書作成に関する勉強会を開催するとともに、提案書作成ツールを活用した提案活動を実施する。	中小企業基盤整備機構・社会保険労務士による「中小企業施策と助成金の活用」についてのセミナーを開催する。 提案書作成ツールを活用した提案活動を実施する。	経営支援担当者を対象に、提案書作成について自主勉強会を開催する。 提案書作成ツールを活用した提案活動を実施する。	中小企業基盤整備機構プロジェクトマネージャー、社会保険労務士を招き、緊急経済対策セミナー「経営活性化のための中小企業施策の活用と助成金の活用」を開催した。 提案書作成ツールを活用した提案活動を実施した。	入庫5年までの職員を対象に、決算書の勉強会及び融資提案書の作成について自主勉強会を開催した。	
ビジネスマッチングの活用	ビジネスマッチングフェアへの開催・参画を行うとともに、各種のビジネスマッチングフェアの開催情報を提供する。 また、えんしん経営者クラブが主催する交流会とビジネスマッチングを支援する。	「ビジネスマッチングフェアinHamamatsu2009」を浜松信用金庫と共催する。 東海地区信用金庫協会が主催する「しんきんビジネスマッチングフェア2009」の出展企業・発注企業・産学官連携ビジネス大賞の募集を行う。 えんしん経営者クラブが主催する地域活性化セミナー & 交流会を支援する。 三遠南信8信金が主催する「しんきんサミット」出展企業・農工商連携先進事例企業の募集を行う。	「しんきんビジネスマッチング2009」に参画する。 「三遠南信サミット」を開催する。 えんしん経営者クラブが主催する「新春経営セミナー & 交流会」を支援する。	「ビジネスマッチングフェアinHamamatsu2009」を浜松信用金庫と共催した。 東海地区信用金庫協会主催「しんきんビジネスマッチングフェア2009」の出展企業・発注企業・産学官連携ビジネス大賞を募集した。 えんしん経営者クラブ主催のセミナー & 交流会の開催を支援した。 三遠南信「しんきんサミット」への出展企業・農工商連携先進事例企業を募集した。	浜松信用金庫と「ビジネスマッチングフェアinHamamatsu2009」を共催した。 東海地区信用金庫協会主催「しんきんビジネスマッチングフェア2009」の出展企業・発注企業・産学官連携ビジネス大賞を募集した。 えんしん経営者クラブ主催のセミナー & 交流会の開催を支援した。 三遠南信「しんきんサミット」の出展企業・農工商連携先進事例企業を募集した。	<ビジネスマッチングフェアinHamamatsu2009> 出展企業 12先 <東海地区信用金庫協会主催しんきんビジネスマッチングフェア2009> 出展企業 5先 <三遠南信「しんきんサミット」> 出展企業 5社 農工商連携先進事例企業 1社
中小企業施策の活用	地域力拠点連携事業へ参画するとともに、中小企業支援施策に関する情報提供と経営革新等各種計画の認定支援に努める。	静岡県商工会連合会等の地域力連携拠点事業に参画して、経営革新等各種計画の認定支援等により取引先の経営改善支援に役立てる。 取引先に対して各種中小企業施策に関する情報を提供する。	上期取組を継続する。	地域力連携拠点パートナーとして「ものづくり中小企業支援補助金説明会」の概要を取引先へPRした。 経営革新の認定を支援し、3取引先において経営革新計画が認定された。 各地域力連携拠点事業が行うセミナー情報を発信した。 舞阪町商工会開催の「経営革新講座」に講師を派遣した。 新たに静岡県中小企業中央会の地域力連携拠点事業へパートナーとして参画した。	経営革新計画の承認申請を支援し、7先が承認を受けた。 経営革新承認先への助成金申請の案内をした。 地域力連携拠点事業が行うセミナー情報を発信した。 地域資源活用プログラムの認定を支援した。	
(4) 事業継承						
事業継承問題に対する相談体制の活用	外部機関等と連携した相談体制を活用することにより、事業継承問題に対応する。	浜松商工会議所の事業継承支援センターと連携し、事業継承問題を抱える取引先の相談に対応する。	浜松商工会議所の事業継承支援センターと連携し、事業継承問題を抱える取引先の相談に対応する。 えんしん経営者クラブ主催「後継者育成セミナー」を支援し、事業継承ニーズに対応する。	地元会計事務所、税理士事務所が開催する後継者塾へ講師として参加した。また、2先について事業継承相談に対応した。	後継者育成研修のなかで、商工会連合会と連携して事業継承支援セミナーを開催した。	

2. 事業価値を見極める融資手法をはじめ、中小企業に適した資金供給手法の徹底

(1) 担保・保証に過度に依存しない融資						
目利き機能の向上	外部の「目利き講座」に職員を派遣する。また、自主勉強会を実施して職員の目利き機能の向上を図る。	・静岡県信用金庫協会主催の「目利き講座」に職員を派遣する。 ・目利き能力向上のための自主勉強会を実施する。	目利き能力向上のための自主勉強会を実施する。	・静岡県信用金庫協会主催の「目利き講座」に職員を派遣した。 ・平成19年度・20年度の入庫職員を対象に、中小企業診断士が講師となり目利き能力向上の自主勉強会を実施した。	当金庫中小企業診断士が講師となり、目利き力向上を目的として渉外担当役員25名、融資担当役員25名を対象に研修を実施した。	
定期的・継続的訪問活動の強化	定期積金の獲得により定期的・継続的訪問活動先の増加を図り、併せて、顧客の実態を的確に把握し融資に結びつける渉外能力を強化する。	定期的・継続的訪問先増加のため、定期積金訪問先獲得の実践訓練を実施する。	上期取組を継続する。	定期積金獲得のための実践訓練を実施した。	定期積金訪問先獲得の実践訓練を実施した。	新規軒 31件獲得
目利き力の向上と取引先の定性情報の的確な把握	定量面での実態把握に努めるとともに、企業の将来性等の定性面を見極める力(目利き力)の向上を図る。 また、 定性情報 を適正に評価するとともに 信用格付 等へ反映させる。	・「業種別融資判断能力のチェックポイント」の金庫内研修を実施する。 ・目利き力向上の外部研修へ職員を派遣する。 ・勉強会と臨店指導の実施により、信用格付の精度向上を図る。	・「業種別融資判断能力のチェックポイント」の金庫内研修を実施する。 ・目利き力向上の外部研修への職員を派遣する。 ・信用格付および自己査定との整合性向上の指導を実施する。	・平成19年度・20年度の入庫職員を対象に「業種別融資判断能力のチェックポイント」の研修を実施した。 ・静岡県信用金庫協会の「目利き講座」に支店長を派遣した。 ・債務者の実態キャッシュフロー(償還能力)を把握できる帳票を新たに制定し、活用方法を指導した。 ・「金融検査マニュアル別冊中小企業融資編」等に基づく勉強会を実施し、日常的・継続的訪問によるコミュニケーションを通じて企業の技術力・販売力等の経営実態を把握するよう指導した。	融資担当役員者・渉外担当役員者を対象に、経営者のヒアリング時のポイントや経営計画策定のサポート等の目利き力向上研修を行った。 ・融資担当役員者等を対象に、信用格付と自己査定との整合性向上の研修を2回行った。	
動産担保融資の活用	中小零細企業の多様化する資金調達ニーズに対応するため、 設備担保信用補完制度「しんきんMEサポート」 の利用促進を図る。	融資担当役員者を対象に、設備担保信用補完制度「しんきんMEサポート」の説明会を実施する。	設備担保信用補完制度「しんきんMEサポート」の利用促進を図る。	設備担保信用補完制度「しんきんMEサポート」の説明会資料を作成し、説明会を開催した。	融資担当役員会議で設備担保信用補完制度「しんきんMEサポート」の説明会を実施し、融資提案の選択肢を挙げた。	

3. 地域の情報集積を活用した持続可能な地域経済への貢献

(1) 地域の面的再生						
各地域における地域再生協議会等との連携	「館山寺温泉街まちづくり協議会」等へ参画する。	以下の項目を中心に「館山寺温泉街まちづくり協議会」の全体会議へ参画し、地元のみちづくりに貢献していく。 ・街づくり整備計画としての車道整備工事 ・浜名湖立体花博の開催支援	上期取組を継続する。	・「館山寺温泉街まちづくり協議会」から、道路や公園などの整備計画の進捗状況等情報を収集した。 ・引佐地域において、地元商店、農業、観光関係者と連携して、観光資源を活用した着地型のツアー商品等を開発し、関東経済産業局へ地域資源活用プログラムの申請をした。	・「館山寺温泉街まちづくり協議会」副会長と面談し、道路や公園などの整備計画の進捗状況等情報収集した。 ・引佐地域の商店、農業、観光関係者とともに地域の観光資源を活用した着地型のツアー商品等を開発し、関東経済産業局へ地域資源活用プログラムの申請をした。	
地域顧客に対する情報提供機能の強化	NPO法人「静岡県西部地域しんきん経済研究所」と連携し、地域顧客に対して金融経済動向等の情報提供を行う。	NPO法人「静岡県西部地域しんきん経済研究所」と連携して、地域顧客に「しんきんパートナー」「景況レポート」等の金融経済動向等の情報を提供する。	上期取組を継続する。	・NPO法人「静岡県西部地域しんきん経済研究所」の「景況レポート」、「しんきんパートナー」、「リサーチニュース」を地域顧客に提供した。 ・毎月「しんきん経済情報」を取引先顧客に提供した。	・NPO法人「静岡県西部地域しんきん経済研究所」の「景況レポート」、「しんきんパートナー」、「リサーチニュース」を地域顧客に提供した。 ・月次で「しんきん経済情報」を取引先顧客に提供した。	
(2) 地域活性化のためのサービス提供						
地域を担う若い世代への金融知識の普及	地域の学校や事業所に対する金融セミナーを実施する。	金融セミナーを実施する。	上期取組を継続する。	・静岡文化芸術大学で、信用金庫の役割や業務内容などの講義を行った。 ・浜松大学で、信用金庫の機能や役割、今後のあるべき姿などを講義した。 ・静岡文化芸術大学で、当金庫理事長が金融経済についての講義を行った。	静岡大学情報学部の学生100名を対象に、地域金融機関の取引先支援事例を中心に「企業の見方と経営アドバイスの方法」というテーマで講義を行った。	

4. 協同組織金融機関としての取組

(1) 会員との関係強化						
会員からの意見の金庫業務への反映	会員に対するアンケート結果の金庫業務への反映を検討する。	会員に対するアンケートの結果および金庫対応策をホームページに掲載する。	会員に対するアンケートの結果に基づき、対応できるものから個別項目毎に業務に反映させる。	会員に対するアンケートの集計・分析を行い、その対応策を検討した。	会員意見に対する金庫内各部署の対応策を取りまとめた。	
(2) 経営力の強化						
法令等遵守の徹底	勉強会・講習会等の実施によりコンプライアンスの認識を強化するとともに、各種会議でコンプライアンスの状況等を開示していく。	・「信用金庫職員のコンプライアンス」を参考書として勉強会を実施する。 ・外部講師による階層別コンプライアンス研修を実施する。 ・コンプライアンスオフィサー会議で苦情等の事例を発表し、再発防止を図る。	・保険販売にかかわるコンプライアンス研修を実施する。 ・不当要求防止責任者講習を開催する。 ・コンプライアンスオフィサー会議で苦情等の事例を発表し、再発防止を図る。	・コンプライアンスオフィサー会議で苦情事例を開示し、再発防止を図った。 ・コンプライアンスオフィサー会議で投資信託窓口販売のコンプライアンス研修を実施した。 ・信金中央金庫の担当者を講師として、営業店および本部の代理職を対象としたコンプライアンス研修を実施した。 ・「信用金庫職員のコンプライアンス」を教材に勉強会を実施した。	・コンプライアンスオフィサー会議で苦情事例を開示し、再発防止を図った。 ・コンプライアンスオフィサー会議で不正事件の未然防止と早期発見のため、具体的事例に基づく説明会を行った。 ・不当要求防止責任者への講習実施およびパート職員へのコンプライアンス研修を実施した。	
リスク管理体制の充実	リスク計測手法の改善を検討するとともに、リスク管理関連の各種研修への参加およびリスク管理統括委員会委員のリスク管理に関する勉強会の実施等により、リスク管理統括委員会の充実を図る。	・市場リスクに関する勉強会を実施する。 ・信金共同事務センターのシステムによる信用VaR計測手法を検証する。 ・新しいストレステストに取り組む。	・現状の信金中央金庫の信用VaR計測システム活用上の課題点の克服に取り組む。 ・信金共同事務センターの信用VaR計測システムと信金中央金庫のVaR計測システムを比較・検証する。	・リスク管理統括委員会の委員を対象に外部講師による市場リスクに関する勉強会を実施した。 ・新しい信用VaR計測システムを検証し、現状の信用VaR計測システムとの乖離を確認した。 ・新しいストレステストを試行し、検証した。	・全国信用金庫協会主催のリスク管理講座に参加した。 ・信用VaR算出システムにおける算出方法・定義について検証した。	

経営改善支援の取組状況

経営情報室と営業店が連携してお取引先企業の経営改善支援に取り組んでいます。

お取引先企業の現状分析に基づいた経営改善計画策定のアドバイスや、計画策定後の進捗状況のフォローを行う等、お取引先企業とともに経営改善に向けて取り組んでいます。

平成21年度の経営支援取組実績は次のとおりです。

【21年4月～22年3月】 平成21年度 経営支援取組実績

(単位:先)

	期初 債務者数 A	うち 経営改善支 援取組み先 数	のうち期末	のうち期末	のうち再生	経営改善 支援取組 み率 / A	ランクアッ プ率 /	再生計画 策定率 /	
			に債務者区分 がランクアッ プした先数	に債務者区分 が変化しな かった先数	計画を策定し た先数				
正常先	3,732	3		3	0	0.1%		0.0%	
要 注 意 先	うちその他 要注意先	434	39	3	32	9	9.0%	7.7%	23.1%
	うち 要管理先	8	2	0	2	1	25.0%	0.0%	50.0%
破綻懸念先	124	10	2	6	0	8.1%	20.0%	0.0%	
実質破綻先	81	2	0	2	0	2.5%	0.0%	0.0%	
破綻先	17	0	0	0	0	0.0%	0.0%	0.0%	
小計 (～の計)	664	53	5	42	10	8.0%	9.4%	18.9%	
合計	4,396	56	5	45	10	1.3%	8.9%	17.9%	

- (注)
- ・期初債務者数および債務者区分は21年4月当初時点で整理しました。
 - ・債務者数、経営改善支援取組み先は、取引先企業(個人事業主を含む。)であり、個人ローン、住宅ローンのみの先を含んでいません。
 - ・には、当期末の債務者区分が期初よりランクアップした先数を記載しました。
 - ・期中に新たに取引を開始した取引先については本表に含んでいません。
 - ・「再生計画を策定した先数」=「中小企業再生支援協議会の再生計画策定先」+「RCCの支援決定先」+「金融機関独自の再生計画策定先」

<用語解説>

中小企業再生支援協議会	地域の中小企業の事業再生に向けた取組みを支援する公的機関です。
中小企業基盤整備機構	中小企業者その他の事業者の事業活動に必要な助言、研修、資金の貸付等、事業活動の活性化のための基盤整備を行う独立行政法人です。
ビジネスマッチング	金融機関のお客さま同士をビジネスでつなぐことです。
地域力連携拠点事業	商工会議所・商工会・地域金融機関・各種支援機関等が連携して、中小企業が抱える問題解決に向け経営相談・専門家派遣・情報提供・ビジネスマッチング等の支援を行い、中小企業の経営の向上を図る事業です。
目利き機能	目利き能力とは、企業の将来性や技術力を的確に評価する能力のことをいいます。当金庫においても、企業の事業運営の仕組みを理解する力を高め、創業企業および取引先企業に対する経営相談・支援機能を発揮できる人材を育成する等目利き機能の向上に努めています。
定性情報	貸借対照表や損益計算書等の数値・データおよびそれらの推移等を定量情報と言うのに対して、企業が持つ技術力や市場環境等を評価したものを定性情報と言います。
信用格付	信用格付は、統一的な基準で企業を評価することにより企業評価を標準化するとともに、貸出に係る信用リスクを計量化することにより貸出資産の健全性を確保する仕組みです。
設備担保信用補完制度	お客さまが保有する機械設備を担保として、その価値を基準にリース会社と信金中央金庫が融資を保証する制度です。
NPO法人「静岡県西部地域しんきん経済研究所」	県西部地域を対象として、経済動向の把握、中小企業に対する経営情報の提供、生活者に対する金融経済知識の普及等を行うことを目的として、浜松信用金庫と共同で設立したシンクタンクです。
会員	当金庫の地区内に住所または居所を有する者、事業所を有する者もしくは勤労に従事する者で、事業者においては、従業員300人以下または資本金が9億円以下に限られており、出資をされている方です。
法令等遵守(コンプライアンス)	急激な時代の変革の中でより健全経営を遂行していくため、企業・職業倫理の向上に努め、日常業務運営において法令や規則等を遵守して違法行為等の早期発見や事故等の未然防止を図ることで。
VaR	Value at Risk の略。将来の特定の期間内に、一定の確率の範囲内で資産の現在価値がどの程度損失を被るかを、過去のデータをもとに理論的に算出した値で、リスク量の計測に使われます。
ストレステスト	現状のリスクや資本の状況に大きな変化が起こったときに金庫の資本充実度がどのように変化するかを検証することです。一定のシナリオ等に基づき、特定のリスク・ファクター(金利、株価、為替等)を大きく変動させて資本の状況を確認します。